

2023 年 2 月 28 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

三ツ星ベルト株式会社で「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一（以下、当行））は、三ツ星ベルト株式会社（代表取締役社長 池田 浩（以下、同社））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション^①（以下、LMA）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるシンジケートローン契約（以下、本契約）を、締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本契約では、同社の CO2 排出量（国内 8 拠点、Scope1・2）の削減目標を SPT に設定しており、SPT 達成状況に応じて利率が変化します。

KPI	CO2 排出量の削減（国内 8 拠点、Scope1・2）
SPT	2025 年度の CO2 排出量を 2013 年度対比で 27%削減

同社は、持続可能な社会の実現への貢献と同社グループの持続的成長を目指し、ESG 経営の実践を推進しています。2022 年度には、同社グループが取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を特定し、「環境」、「社会」、「ガバナンス」の ESG 課題の解決に向け積極的な活動を展開しています。

特定したマテリアリティのひとつでは、「脱炭素社会実現への貢献」として、温室効果ガスの排出量削減目標『2013 年比で 2023 年度：22%以上削減、2030 年度：46%削減、2050 年：カーボンニュートラル ＊（国内 8 拠点、Scope1・2）』の達成に取り組むべき課題としており、本サステナビリティ・リンク・ローンにおいては、このマテリアリティに沿った KPI、及び中間年度での削減目標値を SPT として設定しております。

【本サステナビリティ・リンク・ローンの概要】

組成方法 ： シンジケートローン
組成金額 ： 50 億円
契約締結日 ： 2023 年 2 月 22 日
契約実行日 ： 2023 年 2 月 28 日
契約期間 ： 5 年間
アレンジャー ： 株式会社三菱 UFJ 銀行
資金用途 ： 設備資金

また、本契約では、株式会社日本格付研究所（JCR）より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPT の合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。

以 上